

2026 年 10 月 15 日

高知市長 桑名龍吾 様

令和 8 年度日米共同統合演習「キーン・ソード 27」に関する要望書

日本共産党高知地区委員会
委員長 松本顕治

日本共産党高知市議会議員団
団長 浜口佳寿子

防衛省統合幕僚監部は、10 月 19 日（月）から同月 29 日（木）の期間で、「強固な日米同盟に基づき、日米の共同統合運用能力の維持・向上を図る」として、日米共同統合演習「キーン・ソード 27」の実施を発表している。

この演習には、米軍の他、オーストラリア、カナダ、フランス、ドイツ、オランダ、ニュージーランド、フィリピンの各軍を含む、過去最多の国が参加する。自衛隊だけでも、人員約 45,000 名、車両 6,100 両、艦艇約 40 隻、航空機約 260 機が参加する大規模なものである。この多国籍演習は、有事の際の自衛隊と米軍他外国軍との一体的な運用をなし崩しに進め、憲法が禁じる集団的自衛権の行使を実効的に担保するもので、日本共産党としてその実施に強く抗議する。

「キーン・ソード 27」に関わっては、高知市内では、これまで判明したところでは、同月 16 日（金）から 17 日（土）の間に補給艦「とわだ」と油槽船 1 号が高知新港で燃料や食料の補給訓練を行うとされている。高知新港における、初の軍事演習での利用であり、見過ごすことはできない。

加えて、四国沖では、戦闘機や輸送機などを使った共同統合対艦戦闘演習も予定されており本市漁業等への影響も懸念される。

武力行使を見据え、憲法違反の集団的自衛権を前提とし、有事の際には市民を戦火に巻き込むことにつながりかねない重大な軍事演習であるにも関わらず、市行政としての情報収集、市民への周知があまりに不十分である。

よって、市民の命と安全を守るため、以下の事項について強く要望する。

記

- 1、憲法違反である集団的自衛権を前提にした多国籍の軍事演習は、有事の際に市民を戦火に巻き込むことにつながりかねず、市民の命と安全を脅かすものである。反対する姿勢を、高知市として明確にすること。
- 2、高知市として、主体的に情報収集にあたり、本市や四国沖での演習内容を明らかにして、市民への影響も含め公表・周知すること。
- 3、特定利用港湾の選定が、日米統合演習の市内での実施に結びついていることは明らかで

あり、選定の撤回を国及び県に申し入れること。

- 4、演習中の事故等を未然に防止するよう、国及び米軍及び参加各国の軍に申し入れること。
また事故等が起こった場合、国の責任において、迅速かつ適切に対処し、情報提供を行うよう要請すること。

以上